

## 2019年度事業計画書

2019年度は、下記の事業を実施してまいります。

事業の区分について

1. 研修事業活動
2. 情報収集提供事業活動
3. 普及啓発事業
4. 研究助成事業
5. 情報発信事業
6. その他

事業区分ごとの事業活動と内容

### 1. 研修事業活動

#### イ) 針灸学セミナー講座

医師及び医療従事者を対象に鍼灸理論講義と実践指導を行う。基礎・実技編と応用・実技編の2日間修了者に修了書を交付する。講師は、医師、鍼灸師、で構成する。厚生労働省・日本医師会の後援名義を申請。

会場：ハリウッド大学院大学（東京都港区六本木） 予定定員：30名

開催日：9月15日（日）・16日（祝）の2日間

#### ロ) 中医学研修講基礎編、臨床編

医師及び医療従事者を対象に各種疾患について中医診断、方剤決定などを学ぶ。基礎の部10単位・臨床の部10単位で構成。16単位以上取得した受講生には修了書を交付する。講師は、各編中医学に造詣の深い講師のべ10名が担当する。日本医師会生涯教育制度認定。

会場：全水道会館（東京文京区本郷） 予定定員：40名

開催日：第3土曜日 時間：PM6時～8時30分迄

2019年7月まで（第15回中医学研修講座「臨床の部」）開催中

2019年9月より（第16回中医学研修講座「基礎の部」）開講予定

#### ハ) 次のステップをめざす中医学研修講座

医師及び医療従事者を対象に、具体的な「臨床例」を通じて生きた中医を身につける。講師は各月1名のべ10名・現在第一線で活躍中の中医師及び中医専門講師で構成する。厚生労働省後援 日本医師会生涯教育制度認定

会場：全水道会館（東京文京区本郷） 予定定員：30名

開催日：第4土曜日 時間：PM6時～8時30分迄

2019年1月～12月（8月、12月は休講）年間10回

## ニ) 中医臨床カンファレンス

症例（医案）を事前に配布し、当日に症例案を参加者各自が持参してディスカッションする。中医師指導のもと、中医診断、弁証、治法、処方、服薬等を討議する。  
対象は医師、薬剤師、医療従事者 予定定員7名  
毎月1回PM7時~ ツムラ東京支店10階会議室で行う。

## ホ) 中国医学実践通信講座

中国医学の基礎理論から診断、治療の実際までを独自のカリキュラムで講座を進める。自宅で好きな時間に学べるメリットがある。講座は、内科系、外科系、全講座の受講コースがあり、各科選択ができる。毎月1回、受講生はレポートを提出し、担当中医医師が解答と評価を加え戻す。  
全科7ヶ月間のトレーニングを修了して中国医学をマスターするよう受講生に啓発を行う。中医学基礎の部とのタイアップも推奨する。

## 2. 情報収集提供事業

学術誌「東方医学」の発行（The Japanese Society of Eastern Medicine）

広く東方医学に関連する研究成果の発表、ならびに日本東方医学会の活動を含め情報発信を主な目的とする。2019年度は3回発行予定、全会員及び国会図書館へ配布する。より多くの会員の投稿を期待する。

掲載は、投稿規程内容にもとづき掲載までの過程をチェックし、特に個人情報保護法の規定を厳守しているかどうか審査し、倫理審査委員会の審査を得てないものについて日本東方医学会の倫理審査委員会で審査を行い、会員の便宜を図っていくこととする。

## 3. 普及啓発事業

公益目的支出計画実施事業(内閣府認可継続事業)

- ・日本東方医学学術大会の開催

東方医学を基礎にした疾病予防、養生、治療に関する研究発表及び講演会

2019年度は、2020年2月9日開催 会場 ソラシティカンファレンスセンター  
開催要綱は、9月の学術会議で決定する。

## 4. 研究開発、及び助成事業

東方医学に基づく研究及び助成の活動

自閉症、癌、自己免疫性疾患などについて、臨床研究及び臨床発表などを行う。

- ・BAT（生体活性療法）に使用する生薬の開発と製造。
- ・BAT（生体活性療法）の有効性については学会等でも発表する。

## 5. 情報発信事業

- イ) 本財団と東方医学会のホームページの更新作業を行う。
  - ・ 学術大会、各種セミナー情報の発信と参加申込み
  - ・ 一般ユーザー向けに全国の会員施設を紹介
- ロ) フェイスブック、ツイッターに連動するブログサイトの構築。そのための準備と製作、及び運用。
- ハ) 「4. 研究開発、及び助成事業」に関わる出版事業、及び宣伝広告事業

## 6. その他

- イ) 倫理審査委員会の再編成
  - ・ 法改正に従い川口毅理事主導で合致した組織を改めて作る。
- ロ) 医鍼薬地域連携研究会を組織して定期開催する。

以上